

===== 2012.8.28
NPO法人東京高次脳機能障害協議会 — <http://www.brain-tkk.com/>

TKKメルマガ vol.22

～目次～

1. TKK活動
2. 関連団体の活動
3. 行政等の活動
4. 理事長メッセージ「加盟団体20を超えて」

【1】TKK活動

* *

<医療及び家族相談交流会>

●24年度 第1回、6月17日午後、慈恵医科大学第三病院、第2回、7月15日午後、東京都心身障害者福祉センター。 両日とも、8家族からのご相談がありました

○第3回、9月2日(日)午後、慈恵医科大学第三病院

ご案内および申込み:

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=

10月以降は次の各日曜日午後を予定していますが、最終案内はHPをご覧ください。

第4回:10月7日都身障センター(新宿区)、第5回:11月4日慈恵第三病院(狛江市)、

第6回:12月9日都身障センター、第7回:平成25年1月20日慈恵第三病院、

第8回:2月10日千住ミルデイス1番館(足立区)、第9回:3月10日 慈恵第三病院

<平成24年度総会及び理事会、定例会など>

●第1回理事会および総会、6月24日(日)、大久保地域センター

昨年度決算及び今年度活動方針、予算が審議され承認されました。

活動実績及び今年度の予定は: <http://www.brain-tkk.com/npoact/index.php>

●第2回TKK定例会 7月24日(火)夕方. 青山いきいきプラザにて

主に次の2点について討議し決定した。

1.医療&家族相談交流会関連について検討:草の根事業育成財団助成決定、日程、相談対応など。

港区理解促進事業受託事業関連について検討:8/26「講演会及び医療&家族相談交流会」

2.TKK記念事業関連について検討、オラクル有志の会ボランティア基金の助成決定、
事業名:東京高次脳機能障害協議会発足10周年・NPO法人設立5周年記念事業
「自立と安心の支援をめざしてin東京」講演会及びシンポジウム
10月20日(土)午後、全国障害者総合福祉センター:戸山サンライズ

前半は、当事者や家族、家族会中心の講演会や音楽会。後半は、東京都で支援の中心で
ご活躍の方々による、今後の高次脳機能障害支援に向けてシンポジウム。

実行委員会が発足。配布資料・記念誌発行・リーフレットリニューアルについて検討。

<TKK新加盟団体情報>

●4月、港区の当事者、家族、支援者達の会、「高次脳機能障がい者の未来を紡ぐ会『みなと高次脳』」が5月に団体入会。代表の高井玲子さんは、6月に個人正会員としてTKKに入会。

==== 高次脳機能障がいの未来を紡ぐ会「みなと高次脳」です。港区を拠点に活動を始めました。平成24年3月24日に記念すべき初会合をしました。宜しくお願いいたします。

===== 高井

●7月1日 小金井市の福祉会館で、家族会「高次脳機能障害者小金井友の会『いちごえ会』」の設立総会が開催された。代表の増村幸子さんは、既に4月に個人正会員としてTKKに入会済み。団体としての入会は7月。

●8月。高次脳機能障害 当事者者、家族の会「あきる野 こーゆう」が、TKKに団体入会。あきる野市が拠点。代表は湯浅 栄さん。

<加盟団体活動紹介>

○「みなと高次脳」

10月28日(日)「第14回ヒューマンプラザまつり」(10:00~15:00)

(障害児・者の拠点となるセンター<港区立障害保健福祉センター>芝1-8-23

/tel03-5439-2511 fax03-5439-2514)に、バザーで参加します。

万華鏡を作ったり、万華鏡セットを販売します。

○NPO法人VIVID

11月17日(土)新宿区委託 NPO法人VIVID主催 高次脳機能障害者支援事業

市民向け普及啓発セミナー(80人)、「高次脳機能障害者と家族支援について」(仮)

講演:中島恵子氏(帝京平成大学大学院 臨床心学研究科教授)

お申し込みは、10月以降NPO法人VIVID HPで。 <http://www.vivid.or.jp>

【2】関連団体等の活動

* *

●「東京高次脳機能障害者実践ネットワーク」第1回事例研究会

7月8日(日)午後、社会医学技術学院行動(小金井市中町)

代表世話人:長谷川幹(医師)・渡邊修(医師)・加藤元一郎(医師)・和田敏子

(高次脳機能障害相談員) 事務局:三軒茶屋リハビリテーションクリニック TEL/03-5787-6110

====高次脳機能障害者の支援に携わる専門職、相談員、支援員、当事者家族など約100人が参加。失語の会と調布ドリームから提供された2つの事例を10グループに分かれて、グループ内の多職種の立場から意見を出し合い事例検討を行いました。

その結果を各グループが発表し、事例研究を深めることができました。終了後も意見交換、名刺交換などが行われていました。==== 池田

● 国治研主催研修会「高次脳機能障害リハ:人の心がわかる心を育てる」

7月21日(土).22日(日) 千代田区全電通ホール、司会:橋本 圭司 先生

==== 受講料は2万円弱、それでも全国から300名以上が参加、TKKも多数(7名)が参加。錚々たる講師陣(9名)による9講義が朝から夕方まで2日間びっしり開催された。専門性の高い研修会であったが、時が経つのを忘れるほど充実した、濃密な内容であった。

==== 細見(み)

○未来の会主催、特別企画 当事者会・家族会 合同説明会(無料)

～出かけよう 集まろう ここに来れば仲間がいます～

9月16日(日)13時～16:時、所沢市保健センター

高次脳機能障害と診断を受けた方、ご家族、支援者、(診断は受けていないが高次脳機能障害の可能性のある方も、申し込み時にご相談ください。)

申し込みは電話、FAX、ハガキ、または所沢市ホームページから、

〒359-0025 所沢市上安松1224-1 所沢市保健センター 成人保健課 精神保健担当

TEL:04-2991-1811 FAX:04-2995-1178

<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/bunka/koujinouevent/index.html>

==== この企画は、「引きこもりがちな当事者」や、「情報&ストレス発散の場が不足なご家族への情報提供が目的で、「当事者会/家族会間の交流」が目的ではありませんのでご理解いただけますようお願いいたします。==== 未来の会 市川 剛

【3】行政等の活動

* *

●多摩高次脳機能障害研究会「第11回 多摩高次脳機能障害(支援ネットワーク)講演会」、7月4日夜、国分寺いずみホール、参加者約150名。

「講演1」テーマ【認知リハビリテーションのエビデンス】

講師:東京慈恵会医科大学第三病院 リハビリテーション 診療部長 渡邊 修 先生

「講演2」テーマ【自分で自分を取り戻すために ～症状の学びと環境づくり～】

講師:フェリス女学院大学音楽学部 音楽芸術学科教授 立神 粧子 先生

==== 「講演1」(渡邊修先生)内容:認知リハとは「認知機能の改善を目的として行う体系的な一連の治療技術」であり、高次脳機能障害のリハビリはまだまだ暗中模索であろう」という前置きがあり、高次脳機能障害の各症状(注意障害、記憶障害他)に対してどの様なリハビリ技術が効果があるかについての例を示しながら説明されました。(＊エビデンスは「科学的証拠」と説明がありました。)

「講演2」(立神粧子先生)内容:ご主人が治療を受けたラスク研究所の「神経心理ピラミッド」の各階層毎の内容説明とその段階でどのようなことを訓練するのかの説明がありました。その後にご主人(小澤富士夫氏)が「新しい自分作り」と題し「ラスクで学んだこと(戦略)をいま、どのように日常に生かし、自分を再構築しているか」について15分ほど朗読されました。毎日チェックリストを作り、行動を確認する、相手を思うこと忘れずに、自分一人で出来ることを増やす等すごい努力をされているようです。ご主人の朗読を聞くのは3度目ですが何時も、これほどまで回復されたのかと驚かされます。==== 高橋

●平成24年度「区市町村高次脳機能障害者支援促進事業支援員連絡会」
7月5日(木) 都心障2階 第2研修室にて

TKK細見理事長が講師として「23年度 TKK家族相談交流会・24年度TKK医療&家族相談交流会(6月) についての報告」と題して講演。

●平成24年度「東京都相談支援者初任者研修会」
7月12日 国立オリンピック記念センター

TKKは「高次脳機能障害者の生活ニーズ」について都から当事者・家族の講師を依頼され、次の3家族(および当事者)を派遣した。

- ・「長男の交通事故から私と家族の15年」:TKK理事長 細見みゑ
- ・「高次脳機能障害の理解を広げたい・地域で福祉と文化がつながる」:
杜のハーモニー♪の代表 伊地山敏、伊地山悠子
- ・「交通事故(脳外傷)による高次脳機能障害」:みなと高次脳代表 高井玲子

● 第11回「高次脳機能障害者相談支援体制連携調整委員会」(24年度1回目)
7月13日夜、東京都心身障害者福祉センター、委員として細見理事長が参加。

- ・平成24年度 高次脳機能障害支援普及事業実施予定
- ・「高次脳機能障害者のための社会生活評価プログラム(案)
- ・高次脳機能障害者のための災害初動対応リーフレットの作成についてなど検討。

==== 上記の中では特に、昨年来、TKKが東京都に要望していた、手帳の有無に係らず、高次脳機能障害の診断があれば、通所して生活の自立に向けた訓練や評価をして貰える「社会生活評価プログラム」が10月から実施されることになった。

これは、当事者が地域に戻った時、この結果を地域機関に伝達・助言するので、地域が支援するための支援技術の伝授となり、地域機関への応援になり、地域格差の是正につながるはず、と非常に期待している。通所したい方は都心障や地域自治体の福祉課に問い合わせのこと。==== 細見(み)

●24年度第1回東京都高次脳機能障害者相談支援研修会、
7月31日(火)午後、東京都医療福祉保健研修センター

==== 今年度1回目の研修ということで、渡邊修医師から「高次脳機能障害の基礎知識」と題し、この障害の基本的な知識、福祉制度・施策等について広範で包括的な講演がありました。初めて聞かれる方はもちろん、一応の知識のある方にとっても情報を整理することが出来る有意義な内容でした。

続いて「当事者・家族の体験談」として渡辺秀紀様(当事者)・泉江様(お母様)が今までの経過、特に自立に向けての一人住まいの取り組みを紹介されました。このパートの中で、ご家族を数年に渡り取材し「福祉ビデオライブラリー」として提供しているNHK厚生文化事業団の方が映像を紹介、状態が良くなっていく様子が良くわかりました。やはり映像の力には大きいものがあるので、誰でも個人の記録を録画して行けば、後々、有効に活用できることを痛感しました。最後に主催者、東京都心身障害者福祉センター地域支援課から「高次脳機能障害地域支援ハンドブック」最新版の概要説明がありましたが、改訂の都度、内容が充実してきている事を再認識しました。==== 矢野

●港区高次脳機能障害講演会と医療&家族相談交流会
第1回 8月26日(日)午後、高輪区民センター

「講演1」高次脳機能障害の理解と対応

渡邊 修氏(慈恵回医科大学附属第三病院リハビリテーション科診療部長)

「講演2」当事者とその家族が語る「高次脳機能障害の世界」

福元のぼる氏、福本はな氏(「漫画家が描いた失語症体験記」著者)

「医療&家族相談交流会」相談支援:

渡邊修氏、福本はな氏、大塚祐子氏(東京都心身障害者福祉センター高次脳機能障害担当 作業療法士)、コーディネーター池田敦子(VIVID相談員)

【4】理事長メッセージ -「加盟団体20を超えて」- 理事長 細見みゑ

10数年前、個々の会で要望してもその声はなかなか中央に届かないジレンマがありました。2003年6月、幾つかの団体が協力して協議会を設立しようと、現在NPO法人高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム代表である吉岡千鶴子さんを代表として立ち上げた東京高次脳機能障害協議会が当会の前身です。その時、結成に協力したのは6団体の代表や役員たちでした。また2007年7月、オーストラリアBIAQ代表ディキンソン氏を招いて講演会やシンポジウムを開催したことが、当会の結束をより強いものにし、もっと理解を深め、会の信用を高めたい、もっともっとネットワークを広げて支援力を増やしたいものと、2007年9月にNPO法人を設立し、同年12月に東京都の認証を得る推進力になりました。このNPO法人設立の際に理事長を拝命しましたが、この頃になると、賛同し協力する団体も増えて10団体になっていました。

思えば、高次脳機能障害協議会が発足してから10年、NPO法人を設立してから5年、長かったようであると言う間の年月であったように思います。当事者を家族に持つ、父や母、夫や妻、兄弟姉妹たちが、切実な思いを実現するために必死で協力して駆け抜けてきた年月でした。このように皆で作って来た実績が周囲の理解と賛同を得ることになり、当会の支援や情報を求めて、或は当会に協力しようと、より多くの支援者や団体に入会していただけるようになりました。お陰さまで、2012年8月現在で加盟団体は20を超えました。数は力なり。数が大きくなれば、様々な要望の実施や制度、支援施策改善に向けて、益々の力になります。

さて、今年には記念の年でもあり、加盟団体も20を超えた特別の年ですので、10月20日(土)午後、全国障害者福祉センター(戸山サンライズ)に於いて、「『自立と安心の支援をめざしてin東京』講演会及びシンポジウム」開催を企画しています。

自立と安心の支援について考えると共に、TKKの当事者やご家族、家族会、支援団体、或は未だ入会していない家族会が一堂に会して、相互交流・情報交換していただく機会になればと願っております。詳細については近日中にご案内いたします。

先ずは、皆様のご協力に心より感謝申し上げますと共に、益々のご発展とご活躍を祈念いたします。

以上